

精密塑性加工国際学術賞の受賞者決定および分科会行事開催報告・予定

1. 2026 年精密塑性加工国際学術賞 (2026 JSTP International Prize for Research & Development in Precision Forming) の受賞者決定

鍛造分科会が選考を支援しました第 11 回精密塑性加工国際学術賞 (第 1～10 回: 精密鍛造国際学術賞) について, 受賞者が決定しました. 贈賞式および受賞講演は第 15 回塑性加工国際会議 (15th International Conference on the Technology of Plasticity (ICTP)) (韓国・済州島) にて行われる予定です.

受賞題目: Development of advanced plate forging technology (先進板鍛造技術の開発)

受賞者: Prof. Zhigang Wang (Gifu University, Japan)

また受賞者と国内外の精密鍛造に関する著名な先生方をお招きし, 第 10 回国際精密鍛造セミナー (10th International Seminar on Precision Forging (ISPF 2027)) を 2027 年 3 月 8～11 日に京都にて開催いたします. 世界の鍛造技術の最新動向を学び, 各国の研究者・技術者と交流します. 鍛造分野に限定せず, 広く参加者を募ります. 招待参加 (旅費, 宿泊費支給) と一般参加があり, 参加申込み方法, 期限が異なります. 詳細および最新情報は, 下記をご覧ください. 特に招待参加枠への応募〆切は, 2026 年 11 月 6 日 (金) ですので, 奮ってご応募ください.

ISPF 2027 ホームページ: <http://www.jstp.or.jp/commit/forging/ISPF2027/>

2. 行事開催報告

各行事の講演プログラムは分科会 HP (<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/index.html>) 等にてご確認ください.

2.1 総会・最優秀鍛造技術者賞贈賞式・第 119 回研究集会・研究班集会 (2026 年 5 月 28, 29 日, つくば市)

5 月 28 日および 29 日に, つくば国際会議場 (茨城県つくば市) において総会・第 119 回研究集会・研究班集会を開催しました. 28 日には研究班集会 (写真 1) を実施し, 工具研究班から 3 件, 鍛造材料研究班から 3 件の講演が行われ, 37 名の方々にご参加いただきました. 29 日には午前に総会・最優秀鍛造技術者賞贈賞式を, その後に第 119 回研究集会 (写真 2) を実施し, 39 名の方々にご参加いただきました. 総会では, 2025 年度の事業・会計報告および 2026 年度の事業・会計計画が承認されました. 総会後の最優秀鍛造技術者賞の贈賞式では, 受賞者のジャトコ株式会社 (業績時)・上野完治様への贈賞後に受賞記念講演が行われました (写真 3, 4). その後の研究集会では, 「国研のものづくり研究事例紹介」を主題として, 物質・材料研究機構の本橋様より「1500t 鍛造シミュレータの活用事例」, 産業技術総合研究所の梶野氏より「ニューラルネットワークによるスピニング加工パス設計の研究」と題した講演をいただき, 活発な討議が行われました.

講演後には、物質・材料研究機構の千現地区（写真 5）、産業技術総合研究所つくば中央事業所東地区（写真 6）の見学会が参加者 38 名で実施されました。いずれの見学場所でも活発な質疑応答がなされ、最終的には 30 分程度時間が超過してしまいましたが、大きな問題なく終了することができました。講演者、見学会対応者、参加者のご協力に感謝を申し上げます。



写真 1 研究班集会の様子



写真 2 研究集会の様子



写真 3 最優秀鍛造技術者贈賞式の様子
（左：松本主査，右：受賞者の上野氏）



写真 4 受賞講演の様子



写真 5 見学会（NIMS 千現地区）



写真 6 見学会（AIST つくば東地区）
（文責：東日本地区運営委員）

2.2 第 271 回塑性加工技術セミナー「鍛造入門セミナー（演習付き）」（2026 年 6 月 4,5 日，京都市）

今年度は京都テルサにて対面形式で開催された（写真 7）。内容は昨年度と同様に「鍛造入門セミナー（演習付き）」と題し、「生産加工と鍛造」、「鍛造の力学」、「冷間鍛造」、「熱間鍛造」に関する講義および演習を中心に、初心者にも理解しやすい構成とした。

参加者は 54 名で，昨年度の 53 名，一昨年度の 56 名と同等の水準であった。今回の特徴として，一般参加者が 15 名（全体の 27%）を占めており，この割合は近年にない高さとなった。台風 6 号の接近により開催が危ぶまれたが，前日までに日本列島を通過したため，無事に開催することができた。一方で，交通機関の不通の影響により開始に間に合わない参加者がいたため，急遽 6 月 4 日午前中の講義については Webex で接続し，録画対応を行った。その他に大きなトラブルはなく，全日程を終えることができた。

セミナー終了後のアンケートでは，参加者の満足度が高いことが確認された。一方，回答者は 12 名で，全体の約 20%にとどまった。自由記述では，「演習を通じて理解が深まった」といった意見が寄せられたほか，「実践的な金型設計に関する内容を取り入れてほしい」との要望もあった。今後の企画において参考にしたい。



写真 7 セミナーの様子

（文責：村井 映介（ニチダイ））

2.3 第 195 回塑性加工学講座「鍛造加工の基礎と応用」（2026 年 8 月 5,6 日，名古屋市）

今年度は，大同大学にて対面形式で開催された（写真 8）。講義内容は昨年度と同様で，2 日間で計 8 講義を実施した。参加者は 42 名で，昨年度の 15 名から大幅に増加し，一昨年度の 37 名もやや上回った。また，2.2 節の「第 271 回塑性加工技術セミナー」と同様に，一般参加者は 12 名（全体の 29%）を占め，近年では高い割合となった。

講座終了後のアンケートでは，「非常に理解しやすい講座でした」，「大変興味深い内容でした」などのコメントが寄せられ，参加者の満足度が高いことが確認された。一方，「演習時間を設けてほしい」，「実践的な実験結果に基づく考察を取り上げてほしい」といった要望もあり，今後の企画において検討したい。



写真 8 講座の様子

（文責：村井 映介（ニチダイ））

2.4 第 77 回塑性加工連合講演会テーマセッション「鍛造加工の高度化・最適化に資する新技術」 (2026 年 9 月 28,29 日, 高松市)

第 77 回塑性加工連合講演会にて鍛造分科会の企画によりテーマセッション「鍛造加工の高度化・最適化に資する新技術」が開催された。講演件数は 8 件（一般セッションでの鍛造の講演は 13 件）であり、講演内容は、鍛造工法、金型センシング・材料特性評価、工程設計における生成 AI の活用などであり、鍛造加工の高度化・最適化に向けた取り組みが紹介された。当日は多くの方々に聴講いただき、活発な質疑応答が行われた。一方で、本テーマセッションと鍛造の一般セッションが同一時間帯に開催されたため、聴講者が分散した面もあった。

最後に、講演発表ならびに聴講いただいた皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げる。なお、来年度の第 78 回塑性加工連合講演会においても鍛造分科会からテーマセッションを企画する予定である。取り上げたいテーマ案、あるいは取り上げるべきテーマ案があれば、ぜひ鍛造分科会までお寄せいただきたい。また次回講演会においても、多数の講演発表をお願い申し上げる。

(文責：松本 良 (名古屋工業大学))

3. 行事開催予定

現時点での予定ですので、最新情報は分科会 HP (<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/index.html>) 等にてご確認ください。

- ・ 2026 年 10 月 22,23 日 第 120 回研究集会・研究班集会 (室蘭市, 北日本地区)
- ・ 2027 年 1 月 27,28 日 第 54 回実務講座 (中日本地区)
- ・ 2027 年 3 月 8~11 日 第 10 回国際精密鍛造セミナー (10th JSTP International Seminar on Precision Forging) (京都) (詳細：<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/ISPF2027/>)
- ・ 2027 年 5~6 月 総会・最優秀鍛造技術者賞贈賞式・第 121 回研究集会・研究班集会 (西日本地区)
- ・ 2027 年 9 月 第 122 回研究集会・研究班集会 (60th ICFG Plenary Meeting (第 60 回国際冷間鍛造グループ(ICFG)総会) と合同開催) (中日本地区)

(分科会以外：詳細は各主催の HP 等にてご確認ください)

- ・ 2027 年 3 月 17~19 日 2027 年塑性加工春季講演会 (東京都千代田区)

会報「Bulk Forming」バックナンバー：<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/bulkforming.html>

お願い：Bulk Forming No.23 (1995~96 年発行) を探しております。もしお持ちの方がおられましたら、主査・松本 (matsumoto.ryo@nitech.ac.jp) までご一報ください。

会報「Bulk Forming」への原稿募集

Bulk Forming への寄稿を随時、受け付けておりますので、ご協力、よろしくお願い申し上げます。